

創立 1986 年

2021～2022年度クラブ目標

『新たな奉仕に踏み出そう
ロータリーの次の百年のために』

会長 鈴木 孝 幸
幹事 須藤 正 樹



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021～22年度国際ロータリーテーマ

第1679回例会

令和3年9月3日(12:30～13:30)



○ソング

- 国歌（君が代） ●奉仕の理想

○ビジター

- 国際ロータリー第2530地区 ガバナー 志賀利彦様 ●地区副幹事 小松博様

○スマイルBOX

- 鈴木孝幸会長（志賀ガバナー、小松副幹事、金田県南分区ガバナー補佐、ようこそいらっしゃいました。本日は長時間ありがとうございました。白岩修一君、ようこそロータリーへ。期待しております。）
- 須藤正樹幹事（志賀ガバナー様、小松副幹事様、おこしいただきありがとうございます。白岩修一様入会おめでとうございます。楽しくやりましょう。今日は朝からせわしく落ち着きがないのでスマイルします。）
- 金田昇ガバナー補佐（公式訪問をフルスペックでの開催ありがとうございます。県南分区の公式訪問折り返しです。後半もご支援お願いします。誕生祝いありがとうございました。）
- 石部辰雄会員（誕生祝に感謝申し上げます。間もなく80の大台にのります。健康第一で頑張ります。）
- 富永章会員（志賀ガバナー、小松副幹事ようこそ白河西RCへ。御指導よろしくお願い致します。今月誕生月です。お祝いありがとうございます御座居ます。）
- 成井正之会員（志賀ガバナー、小松地区副幹事様、公式訪問ご苦勞様です。講評ありがとうございました。白岩修一さんご入会おめでとうございます。ロータリー活動と一緒に楽しみましょう。）
- 永野文雄会員（公式訪問ありがとうございます。激務だと思いますので健康に留意して下さい。）
- 居川孝男会員（志賀ガバナー、小松地区副幹事、本日はお忙しい中、当クラブ訪問そしてご指導ありがとうございます。お体をご自愛して頑張って下さい。）
- 矢田部錦四郎会員（ロータリー財団委員会の活動計画を発表させていただきました。）
- 鳴島三夫会員（志賀ガバナー、ようこそ白河西RCへ。クラブ協議会、お世話になりました。）
- 宮本多可夫会員（本日は、志賀ガバナー、御指導ありがとうございます。今後とも、コロナに負けず、2530地区の指導をお願い致します。）
- 中目公英会員（志賀利彦ガバナー、小松博地区副幹事、白河西RCへようこそ。ありがとうございます。RI2530地区でも、青少年奉仕委員会ライラ委員会の委員長として、今後ともご指導をお願いします。）
- 堀田一彦会員（志賀ガバナー、小松地区副幹事、ようこそ。卓話ありがとうございました。）
- 齋藤孝弘会員（志賀ガバナー、本日はありがとうございます。）
- 関谷亮一会員（志賀ガバナーようこそお出で下さいました。ガバナー補佐金田様御苦勞様です。）
- 佐藤清作会員（ガバナー志賀様、地区副幹事小松様の公式訪問を歓迎致します。）
- 山口治会員（本日は、志賀利彦ガバナー、小松博地区副幹事、白河西クラブへおこし頂き誠にありがとうございます。貴重な卓話ありがとうございました。）

▶第1679回例会出席状況

(R3年9月3日)

① 出席免除を受けていない正会員数	50名
② 出席免除の適用正会員数	14名
③ 全正会員数	64名
④ ①の出席者数	32名
⑤ ①のメイクアップ者数	0名
⑥ ②の出席者数	12名
⑦ = ④ + ⑤ + ⑥ (メイクアップ補填後の出席会員数)	44名
⑧ = ③ - (② - ⑥)	61
⑨ = ⑦ / ⑧ × 100 (例会出席率)	72.1%

▶例会日: 第1・第3木曜日(12:30) その他の木曜日(18:30～19:30)

▶例会場: 白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局: 〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間



鈴木孝幸会長

皆さん、こんにちは。本日は、ガバナー公式訪問例会ということで、通常木曜日の例会を金曜日に改めての開催でございます。皆さん、ご協力いただきましてありがとうございました。今朝は、私と須藤幹事、高畠会長エレクト、車田次年度幹事は、このホテルに9時前に入りまして、志賀ガバナーと皆さんをお出迎えさせていただきました。それから、会長幹事会に出席、そして、先程クラブ協議会がありまして、志賀ガバナーから貴重なアドバイスをいただいたところでございます。このアドバイスを今後のクラブ運営にしっかりと生かしていきたいと思っております。では、改めて本日のお客様を紹介いたします。第2530地区ガバナー、志賀利彦ガバナーでございます。ありがとうございます。そして、2530地区小松博地区代表副幹事でございます。そして、我が西ロータリークラブのメンバーでもあります、今日は大切なお客様として金田昇県南分区ガバナー補佐でございます。後程、金田県南分区ガバナー補佐からお話をいただきまして、本日のプログラムであります志賀利彦ガバナーからの卓話をいただきたいと思いますので、よろしく願います。そして先日、新入会員として承認されて本日初めて例会に出席していただきました「白岩工務店」社長の白岩修一会員でございます。白岩修一会員は、元西クラブのメンバーの白岩優一さんの息子さんでありまして、職業分類はお父さんの木造建築業を引き継いでいくことになっております。本来、既に会員なのでお客様という扱いではないんですけども、本日、初例会ということで初出席ということでですね、この場で紹介させていただきました。あとで、会員バッチとロータリーの綱領とかが書いてあるものを授与式を行いたいと思いますので、志賀ガバナーにはよろしく願いたいと思います。それでは、先週末に予定されておりましたGKB野球大会、ゴーゴー県南ベースボール大会というのがあったんですが、そちらが皆さんにご案内したとおり、コロナ感染が確認された方がおりました為に、残念ながら延期になってしまいました。県南の野球少年たちの夏の大きい思い出作りができることが叶わず、非常に残念な思いであります。是非是非、コロナが落ち着けば再開できることを祈っております。私も人生初の始球式ということで、ゴルフの打ちっぱなしの練習を投球練習に代えて練習してたんですけど、非常に初登板を逃して残念な思いであります。是非、再開を願っております。あと、GKB絡みといいますが、青木先生のほうが前回野球大会、全国大会、長崎のほうに行かれたことが結果報告があったと思うんですが、これは時間の都合上来週、藤田龍文青少年委員長のほうから報告していただきたいと思っております。次回もこういったコロナ禍の中で、もっともっと会長の時間としてポジティブな話ができるようになっていればと祈っております。今日はよろしくお願いいたします。これで会長の時間を終わります。ありがとうございました。

■幹事報告

須藤正樹幹事

- 青少年奉仕委員会委員長：青少年奉仕委員会 セミナー次第
- 日本のロータリー100周年実行委員会 ビジョン策定委員会：「日本のロータリー100周年ビジョンレポート2020（資料編）」入手方法について
- 学友・平和フェロシップ委員会 委員長 吉田佳代、ロータリー学友会代表幹事 鈴木美恵子：福島から贈る感謝とエールのコンサート 御礼
- 国際ロータリー日本事務局 事務局長 小林宏明：日本事務局「在宅勤務延長」のお知らせ
- 直前ガバナー事務所 清水美佐子：2020-21年度石黒秀司ガバナー事務所閉鎖
- 国際ロータリー第2530地区2020-21年度ガバナー 石黒秀司：COVID19スリランカへの寄付金に対するお礼及び報告書
- RI日本事務局：財団室NEWS2021年9月号
- ガバナー 志賀利彦、地区研修リーダー 芳賀裕、職業奉仕委員会 委員長 初瀬照夫：「職業奉仕委員会セミナー」開催について
- ロータリーの友委員会 委員長 社団法人ロータリーの友事務局 代表理事 鈴木宏：新型コロナウイルス感染症に関する友事務局対応の件（お知らせ）
- 国際ロータリー第2530地区ガバナー 芳賀利彦、地区幹事 蛭田修二：国際ロータリー第2530地区 地区事務所開設のお知らせ
- 公財）ロータリー米山記念奨学会：米山月間資料の発送予定について
- 国際ロータリー日本事務局 業務推進・IT室：基本的教育と識字率向上月間リソースのご案内
- 日本ユネスコ協会連盟 理事長 鈴木佑司：「2020年度活動レポート」の送付
- 国際ロータリー日本事務局 経理室：国際ロータリー日本事務局経理室より2021年9月RIレポートのお知らせ

■新入会員バッチ授与式

○会員増強委員会

兼子聡委員長

白岩修一君を紹介いたします。1978年4月10日生まれ。お勤め先は「株式会社白岩工務店」代表取締役を務められております。職業分類は木造建築業となっております。そして先日、第一子の女の子がめでたく生まれております。本当に大変な時期でございますけども、積極的に例会のほうに参加をしていただければと思います。どうぞ白岩さん、一言だけご挨拶をしていただければと思います。

○白岩修一会員



改めまして、「株式会社白岩工務店」の白岩と申します。この度はご承認いただきまして、わたくしもロータリアンということで本日よりよろしくお願いいたします。社業は先程も紹介にありましたが、建築業、土木、不動産業を社業としてやっております。約10年程前、わたくしの父、白岩優一なんですけども、こちらの西クラブのほうでお世話になっておまして、震災後退会という形にはなってしまったんです。

けども、わたくしも青年会議所卒業しまして、ちょっとどこの団体にも所属してないような感じだったので、鈴木会長からお声がけいただき



まして、その他メンバーの皆様からお声がけいただきましてロータリーに入る決心をいたしました。これから、自己研鑽に勤めながら社業を通して事業を通して、地域社会に貢献できればと思いますので、一つよろしく願います。どうもありがとうございました。

■委員会報告

○親睦委員会

運天直人委員

- ・結婚記念日
- 鳴島三夫会員
- ・誕生日

石部辰雄会員、富永章会員、金田昇会員



○2021-2022年度国際ロータリー第2530地区

県南分区ガバナー補佐 金田昇様



皆さん、こんにちは。西クラブの会員なんですが、ガバナー補佐ということで一言ご挨拶させていただきます。本日は、一年間で最も大切な行事の一つでありますガバナー公式訪問を、このような形でお迎えいただきましてありがとうございます。県南分区8クラブのうちの4つ目でございます。あと4つ残りありますが、来週からガバナーの露払いとしてしっかり役目を果たしてまいりたいと思います。コロナ禍という中で、非常に厳しい例会運営、ロータリー活動を強いられている中で、こういうフルスペック。俗に言う短縮もなく、しっかり皆様にご参加いただき非常に嬉しく思います。ただ、こういう状況でありますので細心の注意を払いながらコロナ感染を防止し、また外部から西ロータリークラブ何やってるんだと言われないように。また、ロータリークラブ全体としましても、地域に安心をきちんと届けられるような発信をしながらやっていきたいなと思っております。この度、公式訪問にあたりまして志賀ガバナーと小松様にはワクチン接種証明書を持参しております。確認済みですので、そのところではご報告申し上げたいと思います。それと、8クラブのこれから、行事沢山用意しております。大きな中で、ロー

タリー奉仕デーが12月。それから、インターシティミーティング、県南分区で行いますが、これは吉田充パスト会長に実行委員長をお引き受けいただき、3月の開催に向けてしっかりやっていきたいなと思っております。年が明けますと、大体コロナも終息してくるのかなということを希望しながら、なるべく対面でしっかりできるようにやっていきたいと思いますが、途中において事情が変わるようであれば、いろんな形を検討していきたいと思っています。ちなみに、インターシティミーティングの主幹でありますところは西クラブでやっていただくわけですが、主催者というのはガバナーです。ガバナーが主催して、それをガバナー補佐と分区で開催するんだということです。ガバナーのご意向を聞きながらしっかり県南分区として8クラブがコミュニケーションを取って、分区として機能できるように小さいクラブも大きいクラブも一緒に手を携えてロータリークラブ活動に邁進できるように、そんなふうなきっかけ作れるようなIMにしたいと思っています。半年程ありますので、しっかり皆様のご協力いただきながらやっていきたいと思いますが、その他いろいろ事業とか等々ありますが、諸橋幹事、永野文雄副幹事、藤田龍文副幹事の3名の支援をいただきながらしっかり行っていくしますので、皆様のご協力よろしくお願いします。あと、これからガバナーの貴重なお話があります。ロータリーの話も含めて楽しいお話になると思いますので、是非聞いていただい楽しんでいただきたいと思います。よろしくお願いします。

■本日のプログラム

ガバナー公式訪問

○2021-2022年度国際ロータリー第2530地区

ガバナー 志賀利彦様



白河西ロータリークラブの皆様、こんにちは。先程は大変美味しいお昼、ありがとうございました。さて、本日公式訪問するにあたりまして、非常にこのコロナの大変厳しいところの中で開催させていただきました。誠にありがとうございます。わたくしは今年の7月にガバナー拝命いただきました。所属は、いわき小名浜ロータリークラブでございます。約70名いるクラブで中堅と思っております。本来でありましたらば、ガバナーを拝命するにあたってはアメリカのヒューストンに2月11日から一週間、夫婦で缶詰になって勉強をさせていただきながら、その形を取らせていただいていたわけですが、ご承知のように今年は残念かズームによる国際協議会という形になりました。向こうは会議開く時には昼間かもしれませんが、わたくし共日本は夜の11時でございます。そこから夫婦でテレビを見ながら聞き入ったわけですが、第一報にR I 国際会長シェカール・メータさんから、「奉仕しよう、みんなの人生を豊かにするため」という言葉がテーマが入りました。私は私なりに非常に感動したことを覚えております。何故ならば、非常にわかりやすい、そして優しい言葉だなと思っておりました。それから、シェカール・メータ会長はそれにテーマに基づいて詩も作っていただきました。詩の一部をわたくし共使わせていただきまして、この度計画しております

地区大会のテーマにさせていただきました。「ロータリーは力と魔法」これも自分でいうのもなんですけど、大変気に入った言葉だと思っています。魔法があると、力もさることながら夢があるような気がして仕方がありません。皆さん、いかがお思いでしょうか。先程、会長会議を行わせていただきました。シェカール・メータ会長のテーマをもとに、わたくし共地区にこれからの経営方針をいただいたわけですが、それをもとに鈴木会長のほうへ理解していただき、クラブに落とし込んでいただいたわけですが、非常に親切丁寧に事細かく説明いただきまして、私はよく理解できました。本当にありがとうございました。また先程のクラブ協議会におきましても、皆さんから本当に誠意のある活動内容をお知らせいただきまして、私としては非常に安堵しております。どうぞよろしくお願いいたします。話変わりまして、一番このヒューストンに行けなかったというので残念がったのは何を隠そう私の家内でございます。非常にそれなりの着物を買わせていただきました。そして、帯も作ったんです。その帯というのは、パッチンである帯がなんかあるそうでございます。期待して待ってたわけですが、そういうことで行けなかった。第一報は、「お父さん、どうしてくれるの。」いや、これにはまいりました。それで来年度行われます国際大会、アメリカで行われます。あれにもしも行けたらばと思って、一応ノミネートはいたしました。それで帳尻合うかなと思っております。まあ、それは冗談でございますけども、そういうことで今日、私はせっかくの皆様とのお付き合いのきっかけの機会でございますから、ロータリーの事につきましては地区協議会の資料等々に地区方針というものは載せさせていただきますので、あれに基づいて先程やったように会長さんに作っていただいておりますので、どうぞあれでご理解願いたいと思ひまして、時間を少々いただきまして私の過去の経験というものを皆さんに聞いていただければありがたいなと思っております。何故その話をするかと申しますと、人生何をするのにも出会いというものは非常に私の場合には大切だと思ひました。これがすべてだと思っております。その一端をお話をさせていただきたいと思ひます。そして、私はこの出会い等であつたいろんな経験を残された人生、ロータリー活動に使わせていただいて、少しでも寄与したいなと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。その前に私、話をしますと忘れがちなことが多々ございますので、先に地区大会のPRを少々させていただきますと思ひています。ご承知のように11月6日7日で計画しておるわけですが、先程来からお話が出ておりますように、このコロナ禍でどう動くかは最終判断は今日の日曜日、諮問委員会等々を開きまして決定させていただきます、皆さんに報告したいと思っております。まずは、今100パーセントできるという前提で少しPRさせていただきます。いかがでしょうか、このポスター。私はそれなりに気に入ってるんですが、すけども、これは私の自宅なんです。PRするわけじゃありませんけど、何で自宅に3本のポールもあるの。これにはやっぱり訳があるんです。6年前、私家を造りました。何で造ったか。震災でめちゃめちゃに壊れちゃったからです。そして、4年間くらいは我慢したんですが、そういうことで6年目に造らせてもらいました。家族、わ

たくし4人おります。私と家内、でも息子と娘がいるんですが、同情を買うわけではありませんけども、残念ながら生まれてくる時にへその緒が首に絡まりまして、いわゆる仮死状態で生まれてしまいました。帝王切開すれば良かったんでしょうけども、そういう知恵もなくそういう結果になっちゃったわけです。そして、残念ながら言語障害、それと身体障害若干ありまして、なんとか歩けることは歩けるんですが、非常に言葉にもそういうことで問題がありまして、いろんな角度から考えて、もう40過ぎているんですが結婚は諦めてということで、娘にもいろいろ事情がございまして、時間がないものですから話をしませんが、ここで私共生涯を閉じようというふうに考えておりました。私、話前後しちゃって、すみません。この中で説明して私の職業は電気工事業でございます。しかし、その代わり別に「学校法人いわき秀英学園」というものを20年ちょっと前に立ち上げさせていただきました。そういうことで、この建物を私は最終的には寄付していきたいということで、寄付だったらば今、話前後しましたけども茶室として多くの生徒さんに利用していただいております。その延長線で、そういう迎賓館的な格好つけて言えば使ってもらえればなと思ひまして。ただし、私共の位牌は置かせてくださいねというふうに言うつもりでございます。そういうことで、下心があつたのでポールを作らせていただいております。そして、私もガバナーを将来ということにわかりましたものですから、ポールを建てて待ってたわけですが、そして、両方の真ん中の国旗は別ですが、改めてオクトンに注文して作らせていただきました。そして、全く頭にはなかったんですが、今年の5月3日に初めてポールにこれを立てて写真を撮ったところ、偶然にもこういう形に写りました。私は写真能力は正直に言ってゼロでございます。たまたまでございます。そうしたら、この私共のガバナー事務所の委員会の方がこれ良い写真だと、これを使おうよという形で使わせていただきました。そういうことで、11月6日7日、お待ちしておりますので、是非ご出席よろしくお願ひしたいと思います。それと、先程私の仕事の話もさせていただきましたけども、今どうしているかと申しますと、大体平均的には6万ボルトから30万ボルトまでの電気を扱う電気会社でございます。スタートは、一般住宅のコンセントを取り付けるような父親が行っておりました。自転車で行ってた時代です。商売してた時代でございます。電気製品が世の中に初めて出回った時、電気釜からスタートだと思いますけど、電気釜とか洗濯機、冷蔵庫なんてずっと後でございますね。一般住宅にはコンセントなるものがなかったんですよ。その時に、私の父親がいち早くそういうことを考えて、これから電気の時代だということで、そういう電気工事をやったのだと思っております。順調にそこそこにあったんですが、自転車で行ってた時代ですから、たかが知れた事でございます。ところが、私が26、父親が56、突然の病気でがんで亡くなってしまいました。胃がんだったそうでございます。やむなくそういう小さな商売ではありましたが、私は捨てるわけにいかないので自分で引き受けさせていただきました。私としては二代目だったんです。ちょっと父親の話をする前に、もうちょっと遡らせていただきます。戦前は、私の父親は農家の次男坊でございま

たので、農家の仕事を継ぐわけにはいきません。それで、家を出ざるを得ないわけです。それで何をやったかといいますと、代用教員をやったんだそうです。今は代用教員というのは死語だと思いますけども。福島を皮切りにだと思います。郡山、会津、いわき、転々としてやったそうでございます。そして、あんまり直接関係はありませんけど、会津で私の母と出会いまして今日私があるということでございます。そんな形で、戦後でございますけども会津等は大変仕事としては厳しい時があったようでございます。そうすると、母の便りとかなんかで会津の方々に日立製作所のほうに仕事を回してやる、そこに働かせる、そういうことにビジネスでやったわけじゃありませんよ。紹介してあげたそうでございます。非常に日立製作所との絡みが強おございまして、そして中には長年やってたらば町工場を作るとか、そういう方もいっぱいいらっしゃいます。当然ながら、私の兄も日立製作所に務めました。その時に、私は兄から「お前、日立製作所で仕事なんか求めてるらしいぞ。やってみるか。」ということで、話がございました。それは自分としては喜んでということで、兄貴に対してはそんな喜んでなんて言いませんけども。お付き合いさせていただきました。最初は、世の中の本当の出始めのコンピューターのハイテックといった名前をゆったんですけどね。コンピューターの搬入据付工事とございました。というと聞こえはいいんですけども、今の携帯電話、あれの能力の何分の一かわかりませんが、そのくらいしかないものがオーバーに言うとその部屋いっぱい物を並べて繋いでやらなければ完成できなかったような、非常に効率の悪いものでございます。しかし、私共業者としては商売としては大変良かったんです。でも、この仕事もどんどん時代と共に日進月歩変わっていったいきました。最終的に、本当に小さくなっちゃった。その時に日立製作所からまた声がかかって、先程言った超高压の電気工事やってみないかということになって、私はそちらのほうに切り替えました。今、おかげさまでエンジニアとして60数名抱えている程々の会社だと自負しております。今、そういう事できるというのは、本当に日本全国広しと言えど少ないと思います。やってると言ったらば、日立プラントさんとかああいう一部上場の大手会社。それと、東芝プラントさんもありますね。いろいろありますけども、非常に今はそういう技術者不足なので重宝がられて何とか生活をさせていただいてる状況でございます。仕事の内容も随分変わってまいりました。そんな時に、いわきに今の日産自動車、進出したいという話がございました。地元の今から30年近く前になるでしょうね。私たちとしてはこんな嬉しいことはなかったと思っています。いわきにそういう産業が興る。まして、私の得意な日立製作所系でお話来たのは、それやれる。ケーブルがものすごい工場ですから這わすことができる、仕事としては結構大きな。ところが、そこに移転するというふうには考えられた時に、たまたま私共これまた日産自動車、横浜の追浜工場っていう所に私共も入ってございました、仕事で。そしたら、その従業員の一人が、俺はこういうことであらうと移転しなきゃならないけど、それは凄いことですね、素晴らしいことですね。いやいや、とんでもない。あんなとこに行きたくないんだと。ええ、どうしてですか、何故ですか。あんな私いわきとして非常に侮辱されたよう

な言葉でございますが。空気はいいし、食べ物はいいし、魚も豊富ですし、はたまた天気だってね、すいませんけど雪も降らないし、いいか悪いかわかりません。気候温暖な住みやすい所ですよと言いましたら、いやいや違うんだ。それにどうのこうの言ってんじゃない、問題は教育レベルだと、こう言われたんです。学ぶという指数が毎年全国に発表になったんですよ県別に、47都道府県。そこに我が福島県は、なんと下から3番か4番。一番びりは沖縄だったんです。そういうのがずっとやっぱり続きまして、イメージが相当悪かったのかなと思っております。いやそんなことないですよと、やっぱりいわきだって有名な県立もありますし、こうこうしかじかということを生懸命私は説明したんですけど、なかなか理解していただけないというような経緯がありました。地元としては本当に残念なことでございます。経済的にはそれはそれなりの低かったかもしれないんですけど、教育の果てまでそう言われたのではという思いがございました。そういうと同時に、わたくしの日立製作所を通して弟が俺の兄貴に隣の茨城県つくば秀英学園という所に事務長として努めてるんだと。これが仕事をやってほしいという話があったんだけど、志賀やる気はあるか。それは仕事ですから喜んで。その学校に営業に行ってみりました。行った日が、つくば秀英学園さんの開校2日前に行ってみりました。何故、仕事が私のほうで工事やってほしいかといったらば、定員120名取るところを、つくば秀英学園さんはなんと800名近い生徒を取ってしまって、一挙に1年2年3年分の教室が全部埋まっちゃったわけです。急遽増設しなくちゃならないということで私に声かかったんです。そのオープンの2日前に行ってみりました。そうすると、生徒さんと、高校生の1年生、学校の先生がいわゆるミーティングをやっていたわけですよ。明後日、開校でございますから。その姿をわたくし見た時に、あの子供さんの笑顔と目の輝き等々を見て素晴らしい学校だなと。羨ましいな、いいな。そして、先程言ったように、いろんな福島県の問題とかあったでしょ。こんな学校だったら私やってみないかって相手の理事長さんと話したところ、志賀さんやる気だったら私手伝いますよ、どうぞどうぞ、何だったらば事務長も経験豊富だから、手続き等々ありますから、この人も付けてお渡ししてもいいですよ。本当ですかということで、私はなんの準備もなく、こういうことで高等学校作りたいんですけど。何。このくらい大きい声で。つま先から頭まで舐められるように、言葉では言いませんけど、絶対作らせないという言い方とございました。今、作ってもらっては困るんだ。何故なら。もう1995年頃の話でございますけど、もう少子化というのは必ず来るんだ。2000年になったら必ずなってる県立高校といえど統廃合しなくちゃならない時期に入ってるんだと。だから、作ってほしくない。頼むから作らないでくれと言わんばかりです。ところが、私もやっぱりまだ40後半でしたから、まだまだ元気だったもんですからいろいろ研究した結果、でも作るためにはという資料があるわけですよ。この項目を全部クリアすれば作ることは可能なんです。それはこういう時代、こういう国家ですから、それに照らし合わせてクリアになれば作ることは可能ですよと言っていました。ところが、敢えて作らせないわけですよ。作らせたくないわけ。まず一番先に困ったのは項目として

は、仮に100個項目があったとして一番上、生徒が集まるという証明書を出せ。これには手こずりましたね。試験やってみなきゃわかんないって言ったなら、そんないい加減な曖昧なことでは絶対作ってもらっちゃ困る。そう言ったってやってみなければわからないって私は思いますが、絶対そんなものでは通らない。理屈屁理屈の資料の積み重ねでございまして。どっちがもう根尽きるかというくらいの戦いだったと思っております。とうとうとうとう5年目で、相手が県が折れました。そして、合格いただいたわけなんです。ところが、相手だって受け取るというのはほとんどのものそうでしょうけど、年に一度しかチャンスないんですね。一日しかないんです。打ち合わせはいろいろありますが、何月かちょっと忘れちゃったけども、6月なら6月の何日って決まってるんです。そんで今日受け取らなきゃ、また一年また一年って結局5年延びたんです。さすがのわたくしも、もうこれ以上延びたらということで、一つメイクドラマを作ったんですよ。ただ、これを言うとあんまり角が立つことがいっぱいありますから言いませんけど。本当に苦しい苦しい交渉でございました。最後の受け取った時には、前の日に爪をこれでもかというほど細かく切りました。何故切ったかという、県庁ご存じだと思いますけども窓際に課長部長レベルの方が20数人並んでいます。今でも同じだと思うんです。その脇に私共が長テーブルがずっとございまして、各部署にそこに相談に行くわけなんです。なんとなくわかりますか。奥に部課長さんがいて、その前に長テーブルがずっと端から端まであって、そこで資料をどんと持って行って、最後の日ですから受け付けてください。受け付けまかりならん。考えましたですね、私ね。爪切ったというのは、長テーブルをパーン。物凄い音に、家で5~6回やりました。どこが一番いい音が出るか。それで、大変汚い男で申し訳ございませんけど、ご担当の方にふざけるな、お前に渡してるんじゃない。佐藤栄作久知事に渡せーと。全部に聞こえるように言ってやったんですよ。総立ちでございましたよ、窓際。何があったんだ、何があったんだと。その当時の課長さん、大変申し訳ありませんけど、そそくさと資料集めて預かるから預かるから、まずまず。それで初めて受けてもらったんです。そこからは順

調にどんどん行きました。そんなことまで考えて、何故ついたらその叩くわけですから、万が一に相手さんの手とか肌に触れた時に引っかかって傷でも付けたら、もう傷害罪で私訴えられる立場でございまして。それは絶対ないよという、綺麗にさせていただいた。自分でもなんなんですけど、非常に脳が冴えましてやらさせていただきました。決してそれが正道だとは思ってはおりませんが、そのくらいのことで初めて受け取っていただいたわけでございます。スタートしたらば、なんと51人の生徒しか集まらなかった。もう初めての年でございましてからやむを得ないと思いますけど、その次の日には噂が立って、あれ秀英学園潰れるんじゃないかって。そんなことないって、あと4~5年は続くと思いますよと私は言った記憶が正直言ってございまして。そのくらいスタートが厳しかったですが、今年の春こそは東大、卒業生いましてしたけど、昨年の春まで2年連続して東大生を輩出して、過去のを合わせますと数名の方が東大を出させていただいております。そして、今は生徒は約80名前後なんでございまして、その中で福島県立医大等々も3人から平均4人は毎年出させていただいてる状況です。そして、その数少ない中から医学部希望は誠に多ございまして、20名近い方が毎年出させていただいております。それで私立といえども、慶応、早稲田等々におきましては、それなりの人材を輩出して、一応進学校としてはある程度はこさせていだいたかなといったように、福島、いわきの教育レベルを上げるという一つの一助になればなと思って、今鋭意努力してる最中でございます。まだ、完成されたわけではございませんけども、そういう学校を目指して作らせていただいております。将来は素晴らしい生徒さんが生まれるんじゃないかということを期待しておるわけです。冒頭お話ししたように、もう時間ですから切らせていただきますけども、この経験を上手に生かして先程言いましたように残された人生を謳歌したいなと思っております。ロータリーにも必ずや寄与できるんでないかと自負しております。皆様のこれからの更なるご協力ご支援よろしくお願ひしたいと思ひまして、時間ですのでここで切らせていただきます。長時間、ありがとうございました。失礼します。

